

事務事業名		中山間地域振興プロジェクト事業(観光)			会計	一般会計					
課等名		観光課			事業種別	政策		開始	22	終了	24
基本計画上の位置づけ		政策	8	山・里・街の魅力を高め、交流と連携によるグローバルなまちづくり							
		施策	85	中山間地域振興の推進							
目的	対象(誰・何を)	来訪者			対象指標	指標名及び単位			24年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	下栗の受け入れルールに沿って下栗で滞在する				下栗を訪れる観光客数			62000		
	向上させたい上位施策の成果指標	受け入れ体制の数									
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	下栗案内人の会の利用者数			1500	4188					
	成果指標	下栗の受け入れルールの数(一方通行規制、案内人の会の利用)			2	2					
	定性目標										
事業概要	<p>下栗地域の風景と暮らしを次世代に残すため、平成22年度より下栗自治会の中に「下栗修景計画事業」を位置づけ、農業、林業、観光の各分野別に事業を行ってきた。 観光に関しては、下栗の日常生活に負荷をかけず、経済効果を生み出す来訪者の受け入れ体制をつくることを目的に、観光チームにて事業を進めている。 観光チームは、地元住民と事務局(上村自治振興センター、観光課の職員)で構成されている。(平成22～24年度)</p>										
事業内容					名称			活動指標			
24年度事業内容	1 交通ルール等に関する情報発信				1 情報発信ツールの数			1 2式			
	2 受け入れ体制づくりへの支援 (1) 下栗案内人の会の強化支援 (2) 一方通行実施 (3) 交通量調査実施 (4) 駐車場整備(自治会等と合同) (5) 待避所の整備 (6) 駐車場への募金箱の設置				2 (1) 強化支援策 (2) 実施個所 (3) 実施個所 (4) 整備個所 (5) 整備個所 (6) 設置個所			2 (1) 1式 (2) 1カ所 (3) 1カ所 (4) 2カ所 (5) 1式 (6) 1カ所			
	3 受け入れ体制先進地域への視察				3 視察の数			3 1回			
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		150	140	140	0						
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他											
一般財源		150	140	140							
人件費計(千円)②		1,788		1,788							
正規職員所要時間		500		500							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		1,938	140	1,928	0						
事業内容・目標達成状況の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 下栗地域で渋滞等を引き起こしている来訪者に対して、地域の景観を保ちつつ存続していくためには、どのような受け入れを地域で行ったらよいかについて、協議し、先進地の視察等を行った。 当面の課題である渋滞に対しては、来訪者のピーク時に一方通行を実施し、渋滞の緩和につなげた。 										
改革改善の考え方	①問題点	平成24年度を持って、この事業は終了するが、下栗の受け入れ体制の更なる協議や、関係団体等との連携が更に必要。									
	②改革提案	平成25年度以降は、下栗に関連する地域団体等との連携協議会を持ち、情報共有や協議を進めていく。									